

監査報告書

2022年5月19日

社会福祉法人 麦

理事長 渡邊 覚 殿

監事 木全 和巳



監事 八田 邦雄



私たち監事は、2021年4月1日から2022年3月31日までの2021年度の理事の職務に執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度にかかる事業報告及びその付属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度にかかる計算書類（計算書類及びその付属明細書）及び財産目録について検討しました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその付属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の遂行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はありません。

(2) 具体的な事業内容に関する監査結果

- ① 2019年度から指摘してきた『総括と計画を分かりやすくまとめる』という点については、左ページに『2021年度事業総括』、右ページに『2022年度事業計画』、という形で、項目毎に分かりやすく並べられていて、第三者からも分かりやすく整理されるようになってきている。

但し、その中身について細かく観ていくと、例えば総括のⅠ-【3】で「仲間の個別支援計画の共有ができていない」書かれているが、右ページの計画では、その課題が具体的に示されていない。

一つ一つの項目について、「できた事」（到達点）と「できていない事」（課題）を、しっかりと分かりやすくまとめて欲しい。さらにそれを新年度の計画に、しっかりと盛り込んで、分かりやすく表現していくことで、法人全体で、課題と目標が理解できるように、もう一頑張りして欲しい。

細部に渡って、点検しておくで、来年度にも繋げていける。

- ② ①の続きとして、七色の麦の「2022年度事業計画」の内容に、「緊急対応の体制づくり」の項目が、抜けてしまっている。

2021年度の総括が、しっかり引き継いでいけるように、加筆して欲しい。

- ③ 2021年度は、『日中活動の見直し』として、まず「1日の日課」を見直し、グループ単位で活動スタイルもかなり変わった。そして「Aグループ」「Bグループ」「療護グループ」が、それぞれの仲間たちの特性に合わせた活動スタイルをつくった様子が、よく分かるまとめになっている。

- ④ 総括Ⅰ-【3】の個別支援計画の仲間との共有ができなかったという総括は大事な点。仲間たちにも分かりやすい「個別支援計画」を作成して、仲間たちと共有できるように、目標を絞って取り組んで欲しい。

- ⑤ 口頭で副施設長から報告のあった、ベテラン職員と経験の浅い職員との力量差、経験の差は、職員集団が大きくなっていく過程で多くの施設が抱える問題であり、若手職員の力量アップの課題として、記述を加えて欲しい。

- ⑥ 主任級だけでなく、多くの職員が作業総括と仲間総括を分担して書くことは、職員集団の形成のためにも大事な方法であり、ケース記録を書けるような力量を多くの職員に獲得して欲しい。

(3) 計算関係書類及び財産目録の監査結果

- ① 計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

- ② 特に修正等を求める項目はありませんでした。

以上